

Title	故松井清教授・略歴
Author(s)	経済学会
Citation	経済論叢 (1972), 110(5): 335-337
Issue Date	1972-11
URL	<a href="https://doi.org/10.14989/133490">https://doi.org/10.14989/133490</a>
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

# 經濟論叢

第110卷 第5号

---

哀 辞

故松井 清教授遺影および原稿

産業コントロール	堀 江 英 一	1
創業利得と利益留保	高 寺 貞 男	27
不生産的階級と生存競争の組織化	池 上 惇	41
GMにおける予想制度と基準価格制度の形成	小 野 秀 生	57
個人的消費と労働力再生産の社会的性格	成 瀬 龍 夫	78

記 事

松井教授逝く

追悼講演(吉信 肅・森下二次也・山岡亮一)

追憶談(田畑茂二郎・杉本昭七・関下 稔・鈴木 明)

故松井 清教授略歴・著作目録

---

昭和47年11月

京 都 大 学 經 済 学 會

## 故 松井 清 教授 略歴

- 明治45 (1912) 年 5月26日 松井元興の次男(長男幼逝)として、岡山市七軒町4番地にて出生(当時の本籍福岡市西新町703番地)
- 大正13 (1924) 年 3月 京都師範付属小学校第5学年修了  
4月 京都府立京都第一中学校入学
- 昭和3 (1928) 年 3月 同校第4学年修了  
4月 第三高等学校文科甲類入学
- 昭和6 (1931) 年 3月 同校卒業  
4月 京都帝国大学経済学部入学
- 昭和9 (1934) 年 3月 同大学卒業  
4月 京都帝国大学大学院(経済学部)入学  
5月 京都帝国大学経済学部副手
- 昭和11 (1936) 年 3月 京都帝国大学経済学部講師
- 昭和12 (1937) 年10月 藤堂妙と結婚
- 昭和13 (1938) 年 9月 臨時召集により歩兵第24連隊留守隊に入隊
- 昭和15 (1940) 年 4月 召集解除
- 昭和16 (1941) 年 2月 長男芳郎出生  
8月 中華民国へ出張(同年9月まで)
- 昭和17 (1942) 年 2月 臨時召集により歩兵第113連隊に入隊 歩兵第124連隊に編入(フィリピン、パラオ、ラバウル、ソロモン群島、ベトナム、タイ、カンボジア、マレー、ビルマ、インドに転戦)
- 昭和19 (1944) 年10月 妻妙逝去
- 昭和22 (1947) 年 5月 復員  
5月 父元興逝去  
7月 京都帝国大学助教授(経済学部勤務)
- 昭和23 (1948) 年 3月 牧岡澄子と結婚
- 昭和24 (1949) 年 2月 京都大学教授(経済学部勤務) 経済学第7講座担任
- 昭和25 (1950) 年 9月 学術奨励審議会(学術用語分科審議会)専門委員(昭和39年7月まで)  
10月 経済学博士  
10月 長女紀美子出生
- 昭和26 (1951) 年 2月 京都大学評議員(昭和28年2月まで)  
7月 京都大学大学院制度委員会委員

- 昭和28 (1953) 年 4月 島根大学文理学部講師に併任 (昭和29年3月まで)
- 昭和29 (1954) 年 1月 日本学術会議会員 (第3部会) (3期—4期 昭和35年1月まで)
- 4月 京都大学教養部講師に併任 (昭和30年3月まで)
- 7月 関西大学経済学部非常勤講師 (昭和34年3月まで)
- 12月 愛媛大学文理学部講師に併任
- イギリス, ドイツへ出張 (昭和30年11月まで)
- 昭和31 (1956) 年 1月 高知大学文理学部講師に併任 (以後隔年)
- 4月 京都大学法学部講師に併任 (以後隔年)
- 昭和32 (1957) 年 4月 学術奨励審議会委員 (昭和34年3月まで)
- 7月 金沢大学法文学部講師に併任 (昭和41年3月まで)
- 昭和35 (1960) 年 1月 京都大学経済学部長 (昭和36年1月まで)
- 7月 北海道大学経済学部講師に併任
- 昭和36 (1961) 年 3月 京都大学教授 (分校) に併任 (昭和37年2月まで)
- 10月 京都大学学生部委員会委員 (昭和37年10月まで)
- 11月 毎日学術奨励金授賞
- 12月 パキスタン, イラン, イラク, レバノン, インドへ出張 (昭和37年1月まで)
- 昭和37 (1962) 年 3月 京都大学附置経済研究所設置委員会委員 (昭和37年9月まで)
- 9月 京都大学教授 (経済研究所) に併任 (昭和40年3月まで)
- 昭和38 (1963) 年 4月 和歌山大学経済学部講師に併任 (昭和39年3月まで)
- 7月 福岡大学経済学部非常勤講師 (同年10月まで)
- 昭和40 (1965) 年 5月 外務公務員採用上級試験委員 (昭和44年まで)
- 9月 京都大学創立70周年記念事業学内実行委員会委員
- 昭和41 (1966) 年 1月 日本学術会議会員 (第3部会) (7期—8期 昭和47年1月まで)
- 4月 京都府地方職業安定審議会委員 (昭和44年8月まで)
- 10月 立命館大学経済学部非常勤講師 (昭和42年3月まで)
- 昭和42 (1967) 年 4月 関西大学商学部非常勤講師 (昭和48年3月まで)
- 昭和43 (1968) 年 7月 京都商工会議所商業活動調整協議会委員
- 8月 名城大学商学部非常勤講師 (同月中)
- 8月 カナダおよび連合王国へ出張 (同年9月まで)
- 昭和44 (1969) 年 7月 野尻高原大学村セミナーハウス理事 (昭和46年7月まで)
- 10月 京都大学学生部委員会委員 (昭和45年9月まで)

- 昭和44 (1969) 年10月 日本学術振興会流動研究員等審査会委員 (昭和46年9月まで)
- 11月 財団法人京都自治問題研究所長
- 昭和45 (1970) 年8月 母秀代逝去
- 8月 ソ連邦, 朝鮮民主主義人民共和国へ出張 (同月中)
- 11月 中華人民共和国へ出張 (同月中)
- 昭和46 (1971) 年4月 京都大学評議員  
京都大学大学院審議会審議員
- 昭和47 (1972) 年2月 京都府総合開発審議会委員
- 3月 京都府総合開発審議会舞鶴港開発部会長  
東ヨーロッパへ旅行 (同年8月まで)
- 9月6日 急性心臓衰弱のため逝去
- 9月30日 京都大学経済学会主催による追悼会